

梅毒の発生動向【沖縄県：2014年～2023年】

県内データは2024年4月11日現在

感染症発生動向調査において、2014年～2023年[※]に診断され届け出られた梅毒の情報^{※※}を還元します。

※疫学週によります。具体的な各年の集計対象期間は下表のとおりで、診断日を基に集計しました。

※※県内データは2024年4月11日現在で、全国データの作成時点は下表のとおりです。

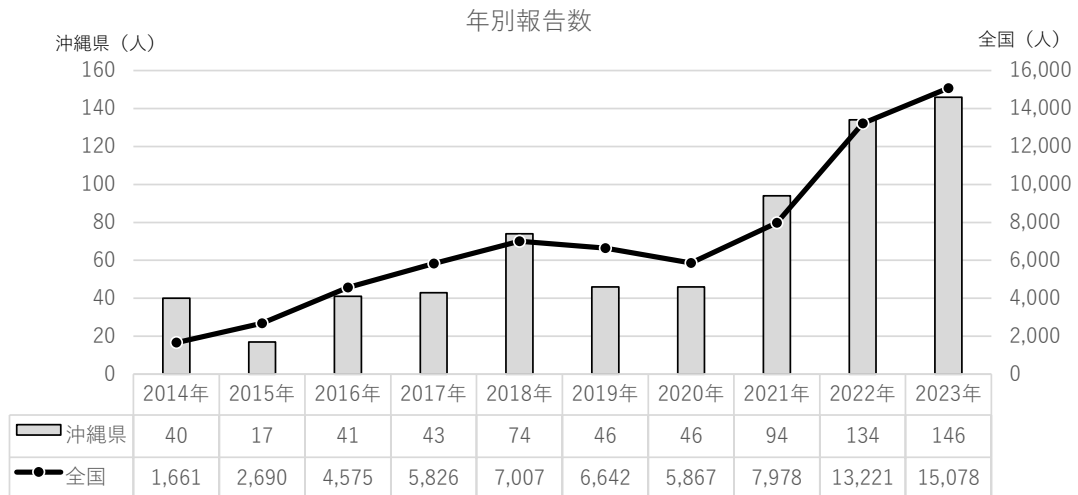
所属年	集計対象期間	全国データ作成時点
2014年	2013年12月30日 ～ 2014年12月28日	2015年10月25日
*2015年	2014年12月29日 ～ 2016年1月3日	2016年10月23日
2016年	2016年1月4日 ～ 2017年1月1日	2017年10月28日
2017年	2017年1月2日 ～ 2017年12月31日	2018年10月27日
2018年	2018年1月1日 ～ 2018年12月30日	2019年10月26日
2019年	2018年12月31日 ～ 2019年12月29日	2020年10月31日
*2020年	2019年12月30日 ～ 2021年1月3日	2021年10月30日
2021年	2021年1月4日 ～ 2022年1月2日	2022年10月08日
2022年	2022年1月3日 ～ 2023年1月1日	2023年10月28日
2023年	2023年1月2日 ～ 2023年12月31日	2024年03月09日

*2015年および2020年は53週間、その他の年は52週間となっています。

(1) 報告数の推移（沖縄県・全国）

沖縄県における2023年の報告数は146人で、感染症法による全数報告が義務付けられた1999年以降、過去最多でした。

全国における2023年の報告数は15,078人で、沖縄県と同様に1999年以降、過去最多でした。



(2) 性別報告数の推移（沖縄県）

2023年の男性の報告数は104人で、前年比1.12でした。

2023年の女性の報告数は42人で、前年比1.02でした。

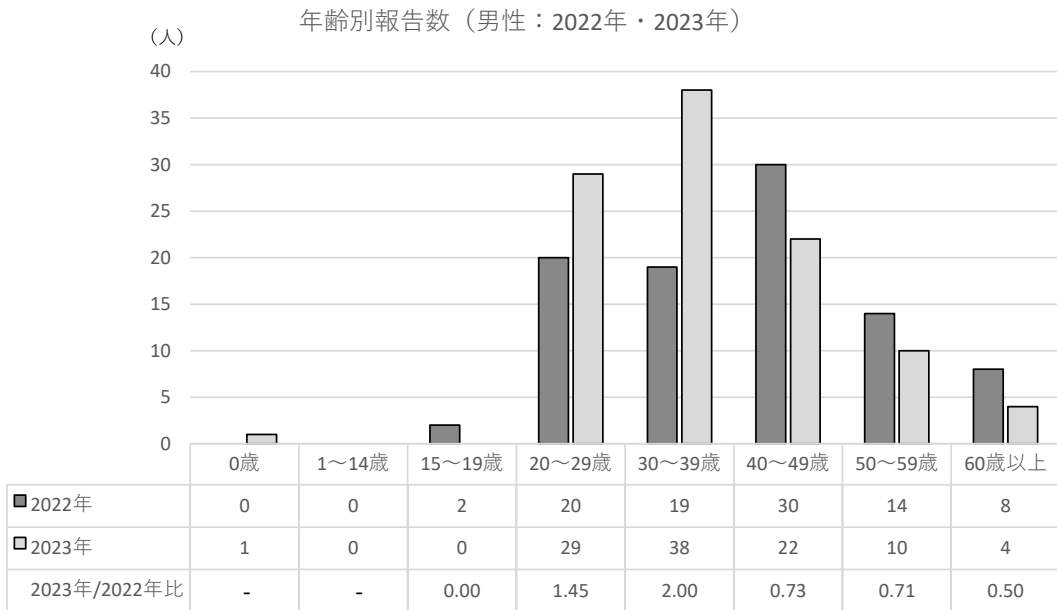


(3) 性別・年代別報告数（沖縄県：2022年・2023年）

①男性・年代別報告数

2022年と同様に、2023年も20代から50代の報告が多くありました。

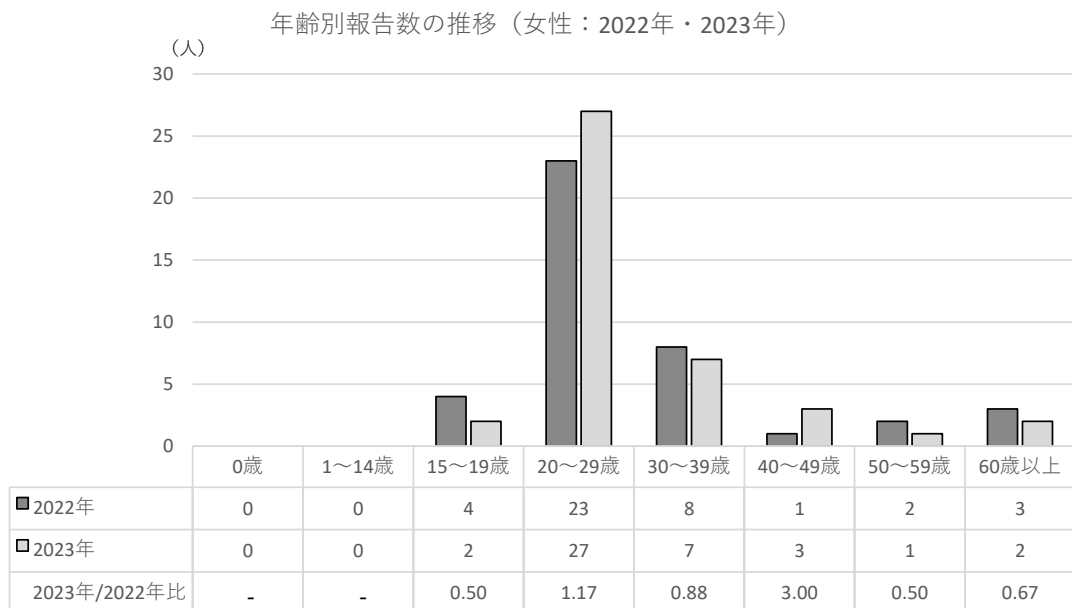
2023年/2022年比で見ると、20～29歳、30～39歳で男性全体の2023年/2022年比（1.12）以上でした。



②女性・年代別報告数

2022年と同様に、2023年も20代の報告が多くありました。

2023年/2022年比で見ると、20～29歳、40～49歳で女性全体の2023年/2022年比（1.02）以上でした。



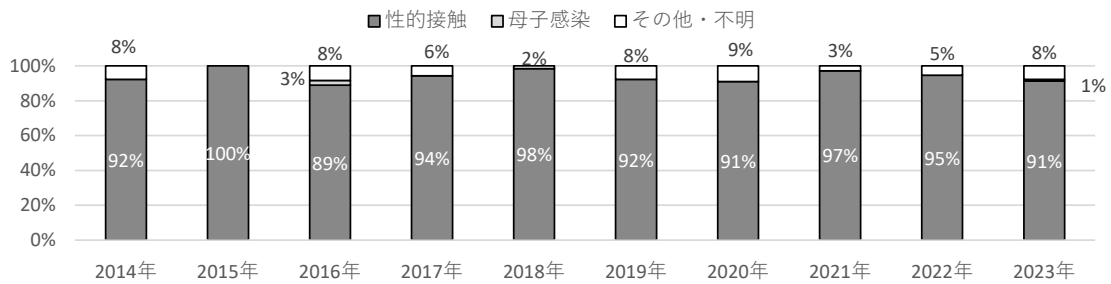
(4) 性別・感染経路別報告割合（沖縄県）

①男性・感染経路別報告割合

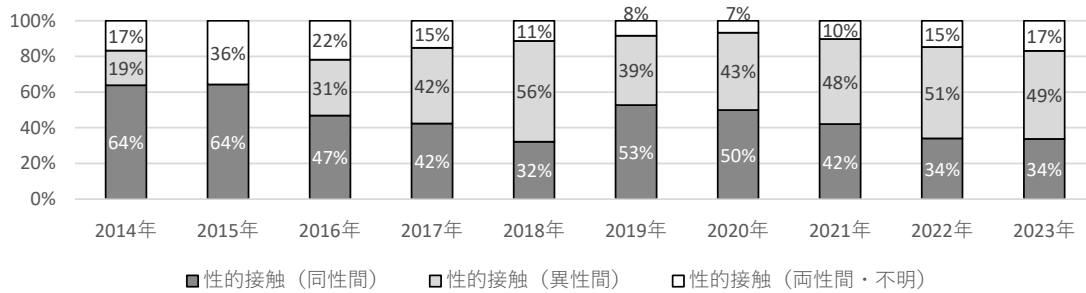
性的接触が89%～100%で推移しています。

2021年以降、性的接触（異性間）の割合が性的接触（同性間）の割合よりも大きい状況が続いています。

感染経路別報告割合の推移（男性）



性的接触の内訳の推移（男性）

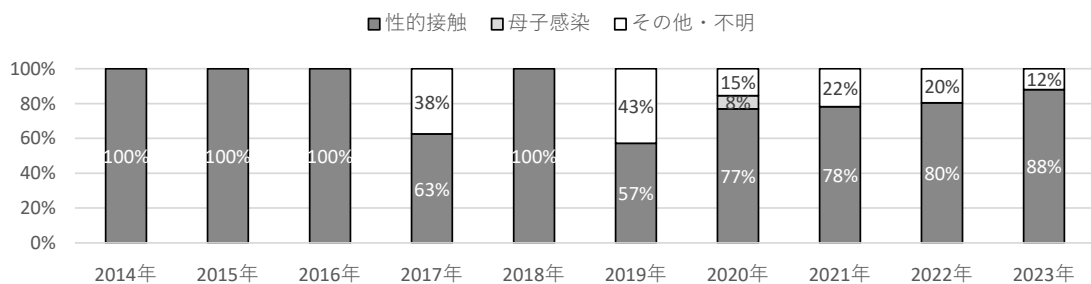


②女性・感染経路別報告割合

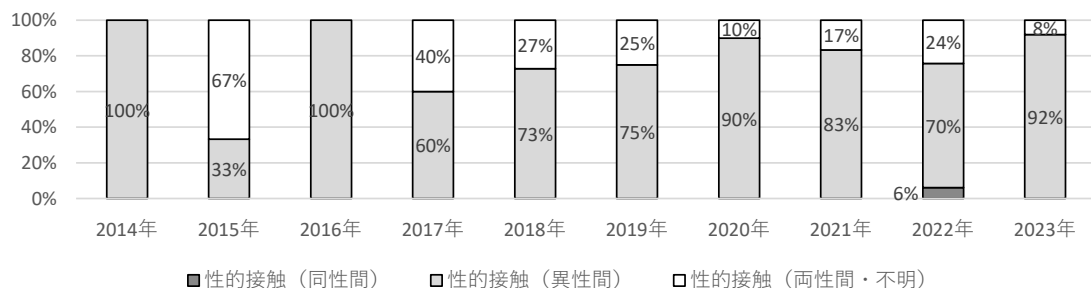
性的接触が57%～100%で推移しています。

性的接触のうち、性的接触（同性間）は少数でした。

感染経路別報告割合の推移（女性）



性的接触の内訳の推移（女性）

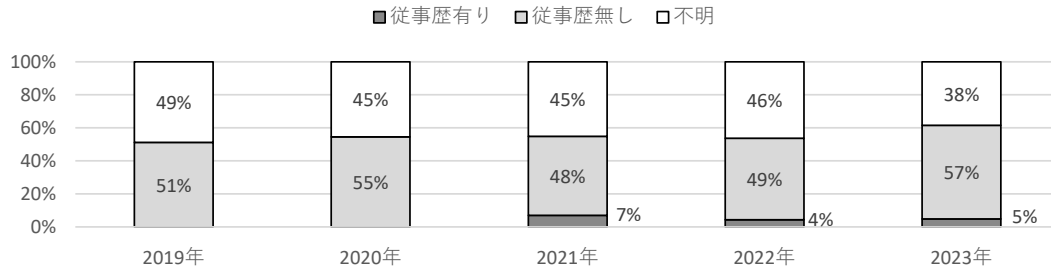


(5) 性別・性風俗産業の従事歴（直近6か月以内）の有無（沖縄県）

①男性

従事歴有り又は無しの報告率は51%~62%で推移しており、残りは不明となっています。
2023年の不明を除いた従事歴有りの割合は2022年よりも減少しました。

性風俗産業の従事歴（直近6か月以内・男性）



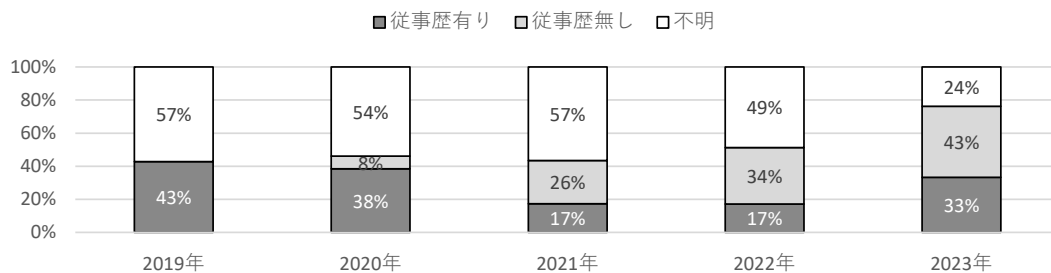
性風俗産業の従事歴有り割合（不明を除く）



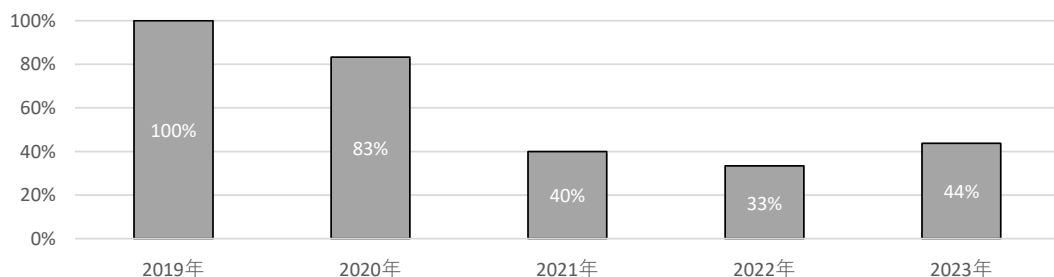
②女性

従事歴有り又は無しの報告率は43%~76%で推移しており、残りは不明となっています。
2023年の不明を除いた従事歴有りの割合は2022年よりも増加しました。

性風俗産業の従事歴（直近6か月以内・女性）



性風俗産業の従事歴有り割合（不明を除く）

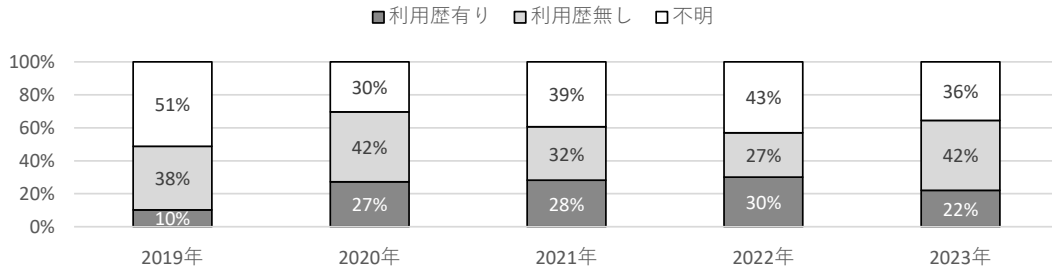


(6) 性別・性風俗産業の利用歴（直近6か月以内）の有無（沖縄県）

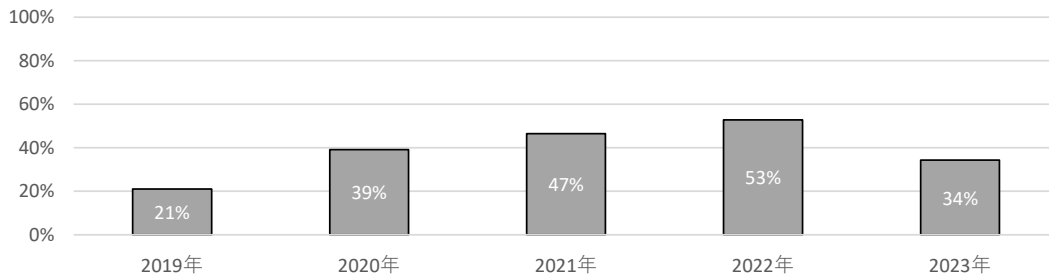
①男性

利用歴有り又は無しの報告率は49%~70%で推移しており、残りは不明となっています。
2023年の不明を除いた利用歴有りの割合は2022年よりも減少しました。

性風俗産業の利用歴（直近6か月以内・男性）



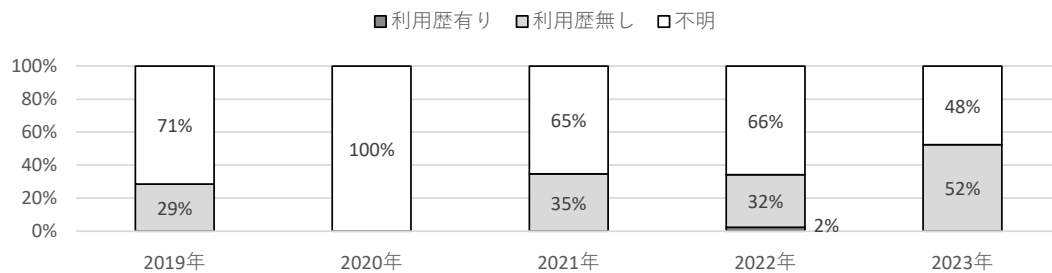
性風俗産業の利用歴有り割合（不明を除く）



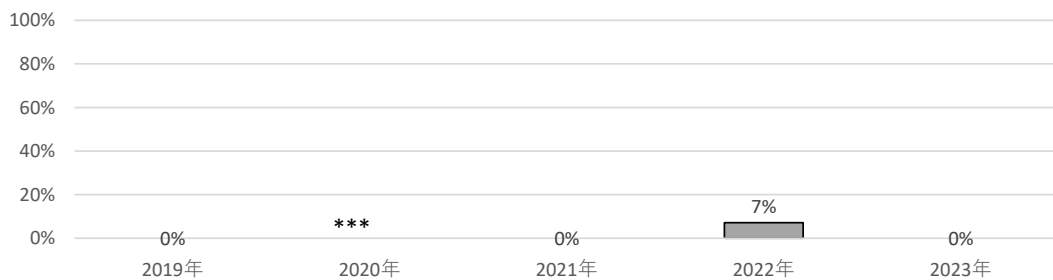
②女性

利用歴有り又は無しの報告率は0%~52%で推移しており、残りは不明となっています。
2023年は利用歴有りの報告はありませんでした。

性風俗産業の利用歴（直近6か月以内・女性）



性風俗産業の利用歴有り割合（不明を除く）



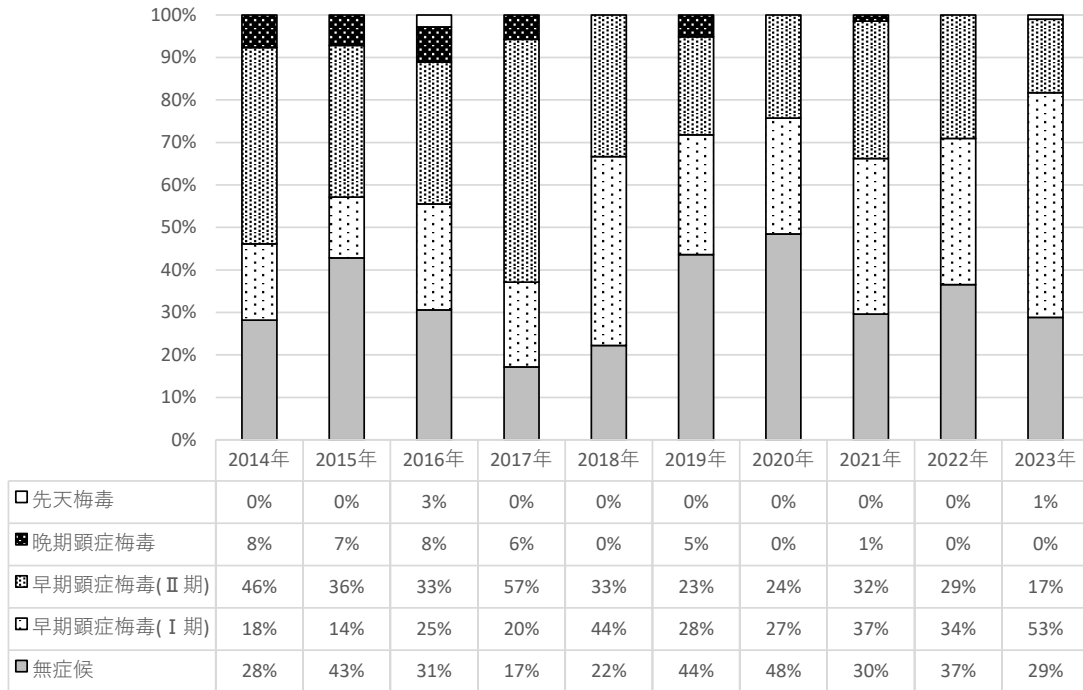
***不明のみ

(7) 性別・症状別報告割合（沖縄県）

①男性

2018年以降、早期顕症梅毒(Ⅰ期)の割合が早期顕症梅毒(Ⅱ期)の割合よりも大きくなっています。

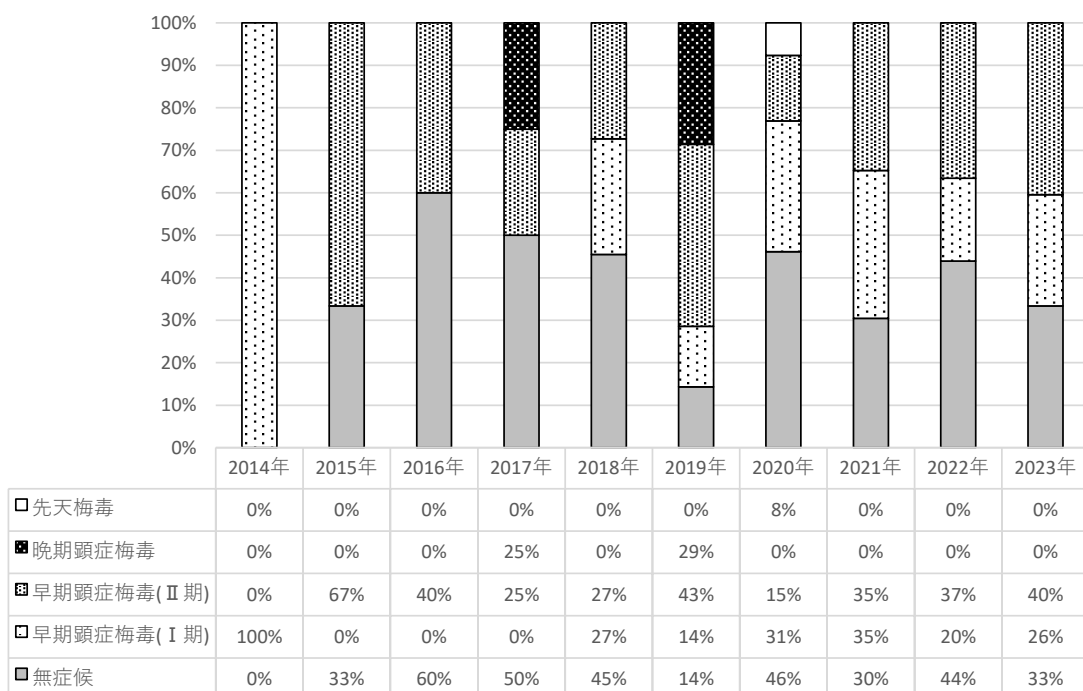
症状別報告割合（男性）



②女性

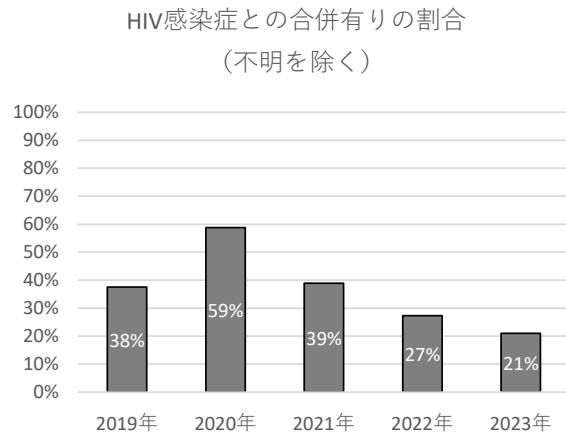
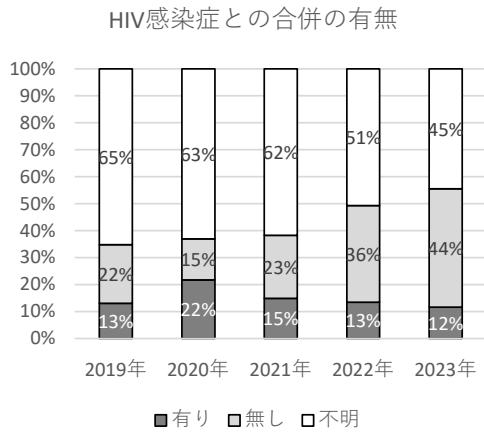
2023年は2022年に比べ、早期顕症梅毒(Ⅰ期)の割合が増加しました。

症状別報告割合（女性）



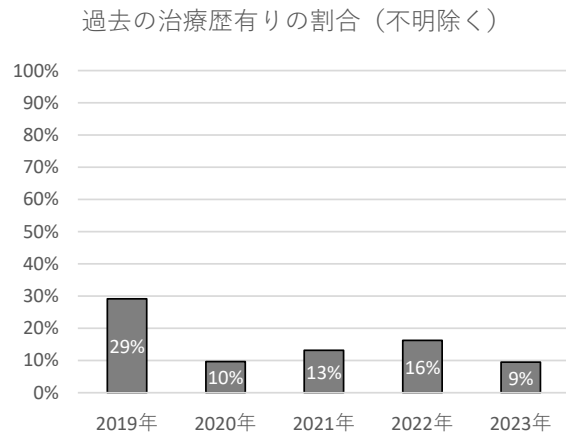
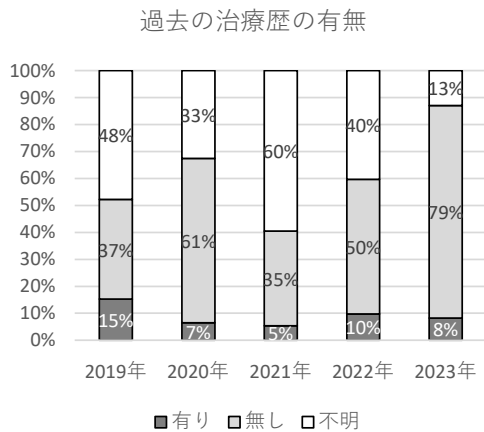
(8) HIV感染症との合併の有無（沖縄県）

合併有り又は無しの報告率は35%～55%で推移しており、残りは不明となっています。
不明を除いた合併有りの割合は2021年より減少が続いています。



(9) 過去の治療歴の有無（沖縄県）

治療歴有り又は無しの報告率は40%～87%で推移しており、残りは不明となっています。
2023年の不明を除いた治療歴有りの割合は2022年に比べ減少しました。



(10) 妊娠の有無（沖縄県）

妊娠有り又は無しの報告率は57%～83%で推移しており、残りは不明となっています。
2023年の不明を除いた妊娠有りの割合は2022年に比べ減少しました。

